

CSC SWGモジュールの"452リプレイ攻撃の疑い"; エラーのトラブルシューティング

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

[原因](#)

はじめに

このドキュメントでは、CSC SWGモジュールの「452 Suspected Replay Attack」エラーをトラブルシューティングする方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Secure Client(CSC)およびSecure Web Gateway(SWG)に基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

問題

[Cisco Secure Client\(CSC\) \(以前のAnyConnect\) Secure Web Gateway\(SWG\)モジュール](#)に接続しようとする、 「452 Suspected Replay Attack」エラーが発生します。



360073322452

解決方法

「リプレイ攻撃」というメッセージは、時間の不一致に対する一般的な警告です。暗号化された接続を攻撃する方法の1つは、古いパケットを繰り返しリプレイすることです。ただし、この場合、実際にはリプレイアタックは発生していません。コンピュータの時刻を変更すると、エラーを解決できます。

原因

このエラーは、エンドポイントのシステムクロックが4分以上離れている場合に発生する可能性があります。現在の時刻は暗号化のネゴシエーションに使用されるため、クライアントとサーバの間に大きな時間差がある場合、クライアントとサーバは互いに安全な暗号化接続をネゴシエートすることはできません。



注：シスコは2023年にCisco AnyConnectのサポート終了を、2024年にUmbrellaローミングクライアントを発表しました。Cisco Umbrellaをご利用のお客様の多くは、すでにCisco Secure Clientへの移行のメリットを享受しています。より良いローミング環境を得るために、できるだけ早く移行を開始することをお勧めします。ナレッジベース記事「[How do I install Cisco Secure Client with the Umbrella Module?](#)」の詳細を参照してください。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。